

身近な温泉の魅力を再発見してみませんか？

鎌先温泉に景観照明が点灯

市では、県の「緊急経済産業再生市町村連携事業」を活用して、鎌先温泉の景観照明施設などを整備し、9月22日から点灯が開始されました。今月号では、リニューアルした鎌先温泉と温泉活性化に向けた温泉街の取り組みなどを紹介します。



温泉街をそぞろ歩きしませんか？



▲こけしをデザインした道標照明と樹木照明。温泉街近くのこけしの里・弥治郎にちなみ、弥治郎こけしが浮かび上がります。

鎌先温泉の整備概要

景観照明の設計をレインボーブリッジや恵比寿ガーデンプレイスなどのライトアップを手がけ、日本における照明デザインの第一人者である石井幹子氏に依頼。さらに、温泉街の舗装整備や案内板の設置、ガードレールを外しての擬木柵設置など、温泉街を宿泊客が歩きやすいように整備しました。



▲ガードレールを取り外し、擬木柵を設置しました。

▼設置された照明付き案内板



■奥羽の薬湯「鎌先温泉」
蔵王山ろくく山懐、閑静な緑に包まれながら5軒の宿が建ち並ぶ鎌先温泉は、古くから「傷の鎌先」として親しまれています。

- 主な泉質
ナトリウム・塩化物・硫酸塩泉
- 主な効能
切り傷、疲労回復、打ち身、冷え性ほか

風情を増した鎌先で

お湯とおもてなしを体験ください



▲お話を聞いた
一條達也さん

一條旅館の社長で、鎌先温泉旅館組合組合長の一條達也さんからお話を聞きました。

景観照明を要望したきっかけは？

「発端は、JR東日本のパック商品『みやぎ葉湯鎌先温泉』だと思っています。このパックは1月から首都圏などで発売され、現在は第三弾が発売中ですが、今年5月、第二弾に向けてJRと打ち合わせをした際に、『鎌先温泉は暗い』という話になりました。我々も気が付いてはいましたが、観光客の目から見ると確かに暗い。それで今回の事業で照明の設置をお願いしようということになったんです。」

鎌先温泉の全旅館を対象としたこの商品は、首都圏や仙台圏などで好評発売中。美容と身体に効く「薬膳鍋」や、白石うーめんなど地元食材を生かした夕食の提

供、3カ所の旅館を自由に入浴できる湯めぐり手形のプレゼント、こけし村での絵付け体験などを盛り込んだ1泊3食付きプランです。

「お風呂に入って体の外からきれいになり、薬膳料理を食べて体の中からきれいになるうというのがこの商品の売りです。鎌先の湯は傷に良い。ということは肌にも良いと、20、30歳の女性をターゲットにしたんですが、予想以上に若い女性客が多くて驚きました。」

夕食のうーめんや薬膳鍋などは、共通メニューとしての旅館でも提供しているとのことですが？

「うちの板長がレシピを作り、各旅館の料理長たちが集まって料理の講習会をやりました。本来レシピは自分だけのものですが、レシピを提供するというのは、今までだと考えられない話です。それがこのパックを通じて、みんなと一緒にという雰囲気になったんです。」
白石蔵王駅への送迎も持ち回りで「インターネット上に共通の掲示板を作り、そこに宿泊予約が入った時点で各旅館が登録をしていくんです。掲示板を見ると、どこの



▲各旅館の当番制で共同運行している送迎車（10月16日、白石蔵王駅）

旅館に誰が何人か入るか全部分かります。迎えに行く旅館も〇〇旅館にお泊まりのXXさん？」と点呼できます。今まではそれぞれ旅館で迎えに行っていました。が、このパック商品に限っては、各旅館持ち回りで役割分担を決めて送迎しています。」

連帯感と競争意識、温泉街全体が良い雰囲気

「情報を共有しているという連帯感もあります。このパックがきっかけで、時には『競争意識』も生まれました。宿泊データを共有すると、どこにどれだけ泊まっているかも分かります。それで自分のところにお客さんをもっと呼ぶにはどうしたら？となりますよね。パックの発売以来、組合会議を各旅館持ち回りで頻繁にやるようになっていきましたが、その際に各旅

館の部屋や宴会場を見せてもらって参考にしたりと、今はとてもいい雰囲気です。これからのモチベーション（動機付け）を維持していかななくてはと思っています。」

温泉と地域の活性化について

「温泉街・旅館はいわば集客装置。パックではこけし村での昼食とこけしの絵付けを組み込むなど、温泉周辺を巻き込んでいます。今後は市内との連携をどう図っていくかが課題だと思います。鎌先でもそうですが、市内でもお客さんに、白石はどういうところか何がある、何ができるのかを積極的にアピールすべきだと思います。」

今後の抱負をどうぞ！

「組合・振興協会、地域の皆さんと話し合いを重ね、協力しながら

清潔感を保ち、お客様に、『ああ雰囲気の良い旅館・温泉街だね』と言われるような雰囲気作りをこれからもやっていきたいと考えています。また、景観整備も整ったので、温泉街の美観を損ねないよう、従業員や業者はもちろんですが、できる限り路上駐車をしないように協力を呼びかけたいです。」

市民の皆さんに！

「雰囲気良くなり、歩きやすくなった鎌先温泉においでください。どの旅館でも日帰り入浴もできます。鎌先のお湯とおもてなしを、ぜひご体験ください。」

12月18日には、土曜ワイド劇場の人気シリーズ『混浴露天風呂シリーズ』に鎌先温泉が登場します。

「鎌先や白石の雰囲気を出せる限り放映してもらって、全国各地のお客さんに来てほしいですね。」



▲照明などの整備に合わせて、温泉旅館組合が改装した温泉街の中ほどにある野菜売店。新鮮な野菜などが販売され、湯治場として栄えてきた鎌先温泉ならではの風情が漂います。鎌先の「八百屋」さんとして親しまれているのは、近くにお住まいの佐藤由子さんと日下薬子さん。お二人は祖母の代から3代販売を続けているとのこと。